

世界のデング熱流行状況(更新 12)

2010年6月16日 ProMED 情報

(1) フィリピン(カガヤン Cagayan 州)[MB.com.ph]

保健当局は、カガヤン州の地方でデング熱患者数が111%増加したことから、同州のデング熱患者数の突如の増加について、地元の住民と旅行者に警告を出しました。昨年の同期は90名のデング熱患者でしたが、今年は5ヵ月で191名の患者が発生しています。

雨季が始まったことから、デング熱患者の連続的な増加はデング熱ウイルスの媒介蚊が繁殖する水たまりの増加が原因と当局は考えています。

(2) ベトナム[Radio The Voice of Viet Nam (VOV) News]

ホーチミン市のいくつかの地区で予想外の雨のため、デング熱患者数が同市で増加しています。現在、およそ65名のデング熱患者が毎週見つかっており、6月1日の週より20%の上昇です。2~3ヵ月で、トウドック Thu Duc、Tan Phu、Binh Tan、および Binh Chanh 地区で増加が続くと予想されています。

(3) タイ[Xinhuanet.com]

6月1日、公衆衛生省は、5ヵ月でデング熱患者17,587名と死亡患者20名が発生したと報告しました。これは、昨年の同期との比較で58%の増加です。デング熱流行のピークは6~8月までの雨季です。ほとんどのデング熱患者が10~24歳でした。中央地域が最も多くて7,945名の患者、続いて南部地域が4,264名、東北地域が3,753名、北部地域が1,625名でした。疾病対策の責任者は、デング熱ウイルス1型が今年は広まっていますが、住民の多くがデング熱ウイルス2型と3型に免疫がないため感染の危険性があると述べています。

(4) インド(ケーララ州)[Deccan Herald]

デング熱の患者45名が、ケーララ地区内外で発生しました。30名はKasargod地域からでした。最も患者数が多いのはKuttikal Gram Panchayatで、15名がデング熱に感染し、1名が死亡しました。

昨年は、48名がデング熱に感染し、30名がKasargod地域でした。

(5) スリランカ[Irin]

同国保健省の疫学調査によると、5月にコロンボ市でデング熱患者1,806名と死亡患者9名が報告されました。今年の死亡患者数は合計95名となりました。昨年は、患者4,813名と死亡患者42名が報告されました。流行は4年ごとに観察され、同市は天候の状況から現在警戒しています。

(6) マヨット島[Mayotte.com]

疫学評価により確定診断患者は26名から32名となりました。またこの他に疑い患者19名もいます。確定診断患者は島中でみられますが、重症患者はみつかりません。

(7) フランス領グアドループ島[Maxi Mini.com]

デング熱受診患者数の増加で、保健医療は困惑しています。ネットアイスマカにより媒介されるデング熱は、6ヵ月間で7,300名以上の入院患者を出しました。流行地は、グランテール Grande Terre、特に Le Moule、Saint-Francois、Les Abymes、ごく最近では Three Rivers、Terre-de-Haut、Basse-Terre まで含みます。

(8) フランス領マルティニーク Martinique 島[DOMactu.com]

6月7日、10歳の少女がデング熱で死亡しました。鎌状赤血球症のこの少女は、デングウイルスに抵抗性がない可能性があります。現在、デングウイルスが主な死因であったか確認するため分析がガイアナで行われています。

現在まで、ほぼ500名がデング熱に罹患し、その中にはデング出血熱のような重症例もあります。

(9) ブラジル(サン・パウロ州)[Estadao.com.br]

同州のデング熱流行は、患者数が5月には、それ以前の数ヵ月の80%にまで減少したものの、史上最悪のものとなっています。同州保健省によると、最悪の流行年(2007年)のデング熱患者92,345名と比較して、2010年には6月11日現在121,270名のデング熱患者が報告されました。また、5月上旬指摘された死亡患者98名も歴史的な記録です。患者の78.6%がサン・パウロ州の50の市に集中していました。患者数のピークは3月で、この時、44,920名がデング熱に感染しました。リベイラン・プレト Ribeirao Preto 市で22,710名、サン・ジョセ・ド・リオプレト Sao Jose do Rio Preto 市で11,185名、Guaruja 市で8,048名、サントス市で7,860名の患者が報告されました。